

授業科目(ナンバリング)	栄養教育論実習Ⅱ (IB354) (実務的教育科目)			担当教員	川野香織 ・ 高江洲有沙 (実務経験のある教員)		
展開方法	実習	単位数	1 単位	開講年次・時期	3 年・後期	必修・選択	必修
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
栄養教育論実習Ⅰに引き続き、対象に応じた栄養教育を行うことができる技術や手法を修得する。さらに、栄養教育マネジメントで用いるプリシード・プロシードモデルを用いて、地域集団を対象としたアセスメントから、計画、実施、評価までのプログラムを立案し、食環境づくりの事業企画を行う一連の流れを理解し、実践的に展開できる能力を修得する。							②③④⑥⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	対象者を取りまく環境と病態との関連性を明らかにし、一次予防の必要性を説明することができる。				・定期試験	30%	
情報収集、分析力	対象者の食行動の問題点を把握し、その解決に向けた教育内容の計画の立案ができる。				・定期試験	30%	
コミュニケーション力	高度な知識を平易な言葉で表現し、カウンセリング技法を用いて適切な食生活実践に向けて行動変容に導くための栄養教育ができる。				・ロールプレイ	20%	
協働・課題解決力	管理栄養士になることを自覚し、栄養教育・指導を行うことに意欲的に取り組むことができる。				・授業態度 ・プレゼンテーション	10% 10%	
多様性理解力							
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験（60％）は、栄養教育計画の立案や栄養教育に必要なポイントを理解しているかを筆記試験で行う。ロールプレイ（模擬個別栄養教育6回）の評価（20％）は、対象者のアセスメント結果を反映させた課題解決が望める栄養教育であるか、行動科学理論やモデル、カウンセリング技法を活用されているか、対象者にとって平易で理解しやすいかを評価する。プレゼンテーション（2回）の評価（10％）は、課題に合致しているか、聞き手にとって平易で理解しやすいか等を評価する。なお、プレゼンテーションおよびロールプレイの評価は、模擬栄養教育終了後の事後レポートと併せて評価を行う。授業態度（10％）は、実習へ臨む態度、グループでの取り組む姿勢や班員との協力態度等で評価する。 ・資料やレポートの提出はポートフォリオを活用し、授業内でフィードバックする。 							
授業の概要							
<ul style="list-style-type: none"> ・地域集団および個別を対象に想定し、問題解決に向けてカウンセリング技法や行動科学理論に則った模擬栄養教育や事業計画を行うことを主とした授業内容である。 ・テーマによって3～6名のグループを基本とし、模擬栄養教育やプレゼンテーションを行う。実施後は、全員でディスカッションを行い、内容等を評価し合う。 ・担当教員の病院や保健所、行政機関等での実務経験から現場をイメージした具体的なアドバイスをを行い、より実践的な技術の修得へ導く。 ・授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分である。 							
教科書・参考書							
教科書：「マスター栄養教育論実習」建帛社 参考書：日本栄養士会編「管理栄養士・栄養士必携」第一出版、「改訂マスター栄養教育論」建帛社、 「食品成分表2020」女子栄養大学出版部、栄養科学シリーズNEXT「応用栄養学 第5版」講談社、 「日本人の食事摂取基準」2015年版 第一出版 指定図書：「マスター栄養教育論」建帛社							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<ul style="list-style-type: none"> ・栄養教育の実施においては、対象者との信頼関係が不可欠であり、その際には栄養カウンセリング技法の活用が求められるため、それらを日ごろの生活から意識し、多くの人とコミュニケーションを図る中で実践することを求める。 ・授業中の私語、携帯電話、メール等は厳禁、無許可での途中退出は不可とする。 							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	個別栄養教育 (1-1)	特定保健指導 初回面接の実施① SOAP 形式による記録 (初回面接のロールプレイ) (事後レポート)	特定保健指導およびその対象の特徴を踏まえた栄養教育が行えるよう予習する。栄養カウンセリングと SOAP 形式による記録を復習する。
2	個別栄養教育 (1-2)	特定保健指導 初回面接の実施② SOAP 形式による記録 (初回面接のロールプレイ) (事後レポート)	行動科学理論を踏まえた栄養教育が行えるよう予習する。栄養カウンセリングと SOAP 形式による記録を復習する。
3	個別栄養教育 (1-3)	特定保健指導 初回面接の実施③ SOAP 形式による記録 (初回面接のロールプレイ) (事後レポート)	行動科学理論を踏まえた栄養教育が行えるよう予習する。栄養カウンセリングと SOAP 形式による記録を復習する。
4	個別栄養教育 (1-4)	特定保健指導 初回面接の実施④ SOAP 形式による記録 (初回面接のロールプレイ) (事後レポート)	行動科学理論を踏まえた栄養教育が行えるよう予習する。栄養カウンセリングと SOAP 形式による記録を復習する。
5	個別栄養教育 (1-5)	高齢者の在宅訪問における栄養教育の実施 (ロールプレイ) (事後レポート)	高齢期の特徴をふまえた在宅訪問における栄養教育の方法を予習する。高齢期の在宅訪問における栄養カウンセリングを復習する。
6	個別栄養教育 (1-6)	食物アレルギー児の保護者への栄養教育の実施 (ロールプレイ) (事後レポート)	乳幼児期の食物アレルギーの特徴をふまえた栄養教育の方法を予習する。乳幼児期の食物アレルギーに対する栄養カウンセリングを復習する。
7	健康危機管理 (2-1)	災害時における備蓄食の検討① (病院における災害時用献立の作成)	災害時における給食施設の備蓄食を予習する。災害時の献立を考える際のポイントを復習する。
8	健康危機管理 (2-2)	災害時における備蓄食の検討② (病院における災害時用献立のプレゼンテーション) (事後レポート)	災害時における給食施設の備品を予習する。教員・学生からの評価を基に復習する。
9	地域診断と食環境づくり (3-1)	プリシード・プロシードモデルを用いた地域の現状把握と課題抽出	地域診断やプリシード・プロシードモデル、既存資料を予習する。地域診断の方法を復習する。
10	地域診断と食環境づくり (3-2)	地域の現状から抽出した課題解決に向けた食環境づくりに関する新規事業企画	地域の現状課題を解決するための既存事業及び食環境づくりを予習する。地域診断の手法を復習する。
11	地域診断と食環境づくり (3-3)	事業企画書のプレゼンテーション	プレゼンテーションの方法を予習する。企画評価を復習する。
12	地域診断と食環境づくり (3-4)	事業企画書に基づいた食環境づくりに関する新規事業の検討①	企画書の内容を再検討し、改善に向けて予習をする。食環境づくりを復習する。
13	地域診断と食環境づくり (3-5)	事業企画書に基づいた食環境づくりに関する新規事業の検討②	設定目標の実践に向けた新規事業プログラムを予習する。地域診断による教育目標設定を復習する。
14	地域診断と食環境づくり (3-6)	事業企画書に基づいた食環境づくりに関する新規事業のプレゼンテーション① (事後レポート)	対象者に分かりやすいプレゼンテーションを予習する。教員・学生からの評価から復習する。
15	地域診断と食環境づくり (3-7)	事業企画書に基づいた食環境づくりに関する新規事業のプレゼンテーション② プレゼンテーションの評価に基づき再立案 (事後レポート)	プレゼンテーション実施後、評価の内容を理解し、再立案のための予習を行う。よりよい栄養教育の内容を復習する。
16	定期試験		